

一般会計予算決算常任委員会記録

令和6年6月26日

【開催日】 令和6年6月26日（水）

【開催場所】 議場

【開会・散会時間】 午前10時～午前10時17分

【出席委員】

委員長	中村博行	副委員長	伊場勇
委員	大井淳一郎	委員	岡山明
委員	奥良秀	委員	笹木慶之
委員	白井健一郎	委員	恒松恵子
委員	中岡英二	委員	中島好人
委員	福田勝政	委員	藤岡修美
委員	古豊和恵	委員	前田浩司
委員	松尾数則	委員	宮本政志
委員	森山喜久	委員	矢田松夫
委員	山田伸幸	委員	吉永美子

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

議長	高松秀樹		
----	------	--	--

【執行部出席者】

副市長	古川博三	総務部長	辻村征宏
企画部長	和西禎行	協創部長	篠原正裕
市民部長	梅田智幸	福祉部長	吉岡忠司
財政課長	別府隆行	財政課課長補佐	林善行
財政課財政係長	江本洋治		

【事務局出席者】

局次長	中村潤之介	庶務調査係長	山田寿実子
議事係長	岡田靖仁	議事係書記	末岡直樹

【審査内容】

1 議案第45号 令和6年度山陽小野田市一般会計補正予算（第2回）につ

いて

午前 10 時 開会

中村博行委員長 おはようございます。ただいまから、一般会計予算決算常任委員会を開会いたします。本日の審査日程については、お手元のタブレットにありますとおり進めてまいります。6月11日に本委員会に付託されました議案第45号令和6年度山陽小野田市一般会計補正予算（第2回）については、各分科会での審査が終了しましたので、分科会長の報告を求めます。最初に、総務文教分科会長の報告を求めます。

（伊場勇総務文教分科会長 登壇）

伊場勇総務文教分科会長 皆様おはようございます。一般会計総務文教分科会の報告をします。議案第45号令和6年度山陽小野田市一般会計補正予算（第2回）について、6月13日に委員全員出席の下、慎重審査をしましたので報告します。概要です。今回の補正は、きらら交流館再整備事業等取り急ぎ措置すべき案件について行うものです。論点または審査によって明らかになった事項などについてです。まずは、歳入についてです。19款繰入金、1項1目財政調整基金繰入金1,702万1,000円の増額は、財源調整として繰り入れるもので、財政調整基金の令和6年度末の予算上の残高は26億2,898万4,000円となります。次に、21款諸収入、5項4目過年度収入6,342万円の増額は、令和5年12月の補正予算で措置した物価高騰対策住民税非課税世帯支援給付金追加給付事業に対して、国から令和5年度実績額に基づく追加の交付決定があったため、これを受け入れるものです。続いて、歳出についてです。2款総務費、1項14目防災費160万円の増額は、一般財団法人自治総合センターが実施する宝くじの助成金を活用したコミュニティ助成事業で、自主防災組織における防災備品の充実・整備に要する費用を助成されるもので、このたびの交付先は、山陽小野田市セーフ

ティネットワークです。主な質疑として、「市が採択するか否かを決めるのか」との質問に「市が窓口となり、県を通じて自治総合センターに申請するものである。採択も自治総合センターが行う」との答弁がありました。次に、１項１６目ふるさと推進事業費１７０万円の増額は、一般財団法人自治総合センターが実施する宝くじの助成金を活用したコミュニティ助成事業で、地域コミュニティの健全な発展を図るために助成されているもので、このたびの交付先は、川上地区自治連合会です。主な質疑として、「購入された備品は誰の所有物として管理されるのか」との質問に「川上地区自治連合会の所有物として管理される」との答弁がありました。次に、１項３２目きらら交流館改修事業費２０７万９，０００円の増額は、設計業者が設計業務の一環としてきらら交流館の現地調査を行ったところ、アスベスト調査、外壁調査及び外構埋設物の位置調査が新たに必要となったため増額するものです。なお、設計業務全体の委託料は４，６６１万３，０００円となります。主な質疑として、「なぜアスベスト調査等が追加されるのか」との質問に「平成１３年竣工の比較的新しい建物であるため２検体程度の調査で足りると見込んでいたが、実際に調査技術の有資格者が調査したところ２０検体の調査が必要となり、調査費用の増額が生じた」との答弁がありました。次に、地方債補正として、きらら交流館整備事業債の限度額１，４４０万円を１，５２０万円に増額するものです。以上で、総務文教分科会からの報告を終わります。慎重審査のほどよろしくお願いします。

(伊場勇総務文教分科会長 降壇)

中村博行委員長 総務文教分科会長の報告が終わりましたので、これより質疑を行います。質疑はありませんか。

山田伸幸委員 先ほどの総務費の説明の中で、自主防災組織における防災備品の充実・整備と説明されました。これは具体的にどういった防災備品なのか、整備とはどういったことをするのか、お答えください。

伊場勇総務文教分科会長 この助成金によって整備を予定されている防災備品については、ポータブル電源タイプの蓄電池6台とその関連機器でありまして、避難所が停電した場合を想定して電源を確保することで充実した避難所運営体制の整備を図ることを目的としているとの説明がありました。

山田伸幸委員 次に、きらら交流館改修事業費の中で、外壁調査及び外構埋設物の位置調査と言われました。外壁調査は分かるんですが、外構埋設物の位置調査というのはどういったことをするのでしょうか。

伊場勇総務文教分科会長 この点についても説明がありました。埋設物の位置調査については、今のところ、新しいきらら交流館は海側に新たな玄関を設置することとしているため増設する必要があるということ、その際に管轄する県の宇部土木事務所等に確認したところ、地中にあるボックスカルバート、つまり排水路なんですけども、その位置が分からないため調査が必要になったということです。

吉永美子委員 一般財団法人自治総合センターの宝くじの助成金によるコミュニティ助成事業の考え方についてです。このたび、川上地区自治連合会の所有物として、電気式の芋焼き機といったものを助成事業で購入することなんですけれども、他の地区の自治連合会が川上地区自治連合会に対して、一時的に貸してほしいというようなやり取りができる助成事業なのでしょうか。

伊場勇総務文教分科会長 この助成事業については、川上地区からこういったものが欲しいという申請を受けて、市が窓口となって、自治総合センターに計画、要望を出したところ、採択され、170万円でワイヤレスランプ等の備品を購入するというものなので、貸し出すということではないと認識しております。

山田伸幸委員　今までですと、市の窓口に必要な備品を借りに行ったときに、これを借りることができるという一覧表があるんですけど、その中には入らないということなんですか。

伊場勇総務文教分科会長　繰り返しになりますが、こちらの備品については、川上地区自治連合会が、こういったコミュニティ活動を活性化するため、健全な発展を図るために、こういったものが欲しいというものを、市が窓口となって、自治総合センターにこういうのを頂きたいという申請を行ったところ、採択されたので、そのお金を使って購入したもののなので、それについては川上地区自治連合会のものになるということです。

中村博行委員長　ほかに質疑はありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）以上で質疑を終わります。最後に、民生福祉分科会長の報告を求めます。

（奥良秀民生福祉分科会長　登壇）

奥良秀民生福祉分科会長　改めまして、おはようございます。令和6年6月定例会において一般会計民生福祉分科会に係りました議案第45号令和6年度山陽小野田市一般会計補正予算（第2回）につきまして、所管であります民生福祉常任委員会が所管する部分につきまして、御報告します。今回の補正は、児童手当支給事業、新型コロナウイルスワクチン定期予防接種事業等取り急ぎ措置すべき案件について補正するものです。論点または審査によって明らかになった事項などについてです。まずは、歳出についてです。3款民生費、1項1目社会福祉総務費245万5,000円の減額は、システム改修事業及び令和5年度診療報酬支払基金交付金の精算に伴い減額するものです。1項2目障害者福祉費494万6,000円の増額のうち12節委託料140万8,000円の増額は、障害者や障害児に障害福祉サービス等の支給決定を行うシステムの改修を行うものです。21節補償金353万8,000円の増額は、過去の障

害者相談支援事業委託料において、契約の相手方である山陽小野田市社会福祉事業団が、消費税の修正申告をして税務署に納めた追徴消費税額及び消費税の納税が遅れたことにより支払った延滞税額について市が補償するものです。主な質疑としまして、「消費税を非課税にしていたのはいつからか」との質問に「山陽小野田市社会福祉事業団に委託したのが平成26年度からなのでその時点から非課税にしていた」との答弁がありました。次に、2項2目児童措置費1億5,890万2,000円の増額は、児童手当の拡充及び第2子以降保育料無償化事業に伴い増額するもので、第2子以降保育料無償化事業に伴い、歳入として私立保育所及び管外保育所の保育所運営費負担金と公立保育所の保育所使用料を減額するものです。主な質疑としまして、「DVへの対応はどのようにするのか」との質問に「DVの場合には慎重に取扱いをしているので、引き続き漏れがないようにチェック体制を強化しながら対応していく」との答弁がありました。次に、4款衛生費、1項2目予防費1億4,312万6,000円の増額は、システム改修及び新型コロナウイルスに係る予防接種事業開始のため増額するものです。主な質疑としまして、「今後は各対象者に対してワクチン接種の案内はなくなるのか」との質問に「個別の案内はなくなる」との答弁がありました。次に、1項3目環境衛生費100万円の増額は、飼い主のいない猫の不妊去勢手術費補助金について、申請件数が当初予算に到達し、市が申請受付を停止したため増額するものです。主な質疑としまして、「本市で登録のある地域猫活動団体は何団体か」との質問に「現在は7団体である」との答弁、「TNRの活動状況をどのように把握しているか」との質問に「登録団体から年間事業計画書を提出してもらい、随時報告書も提出してもらって把握している」との答弁がありました。以上で、民生福祉分科会の報告を終わります。委員の慎重審査のほどよろしくお願いします。

(奥良秀民生福祉分科会長 降壇)

中村博行委員長 民生福祉分科会長の報告が終わりましたので、これより質疑

を求めます。質疑はありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）質疑なしと認めます。それでは、議案第４５号についての討論を行います。討論はありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）討論なしと認めます。これより、議案第４５号について採決します。本件に賛成の委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

中村博行委員長 全員賛成です。よって本件は可決すべきものと決しました。

以上で、委員会を散会します。お疲れさまでした。

午前１０時１７分 散会

令和６年（２０２４年）６月２６日

一般会計予算決算常任委員長 中 村 博 行